

## 配線器具等による事故にご注意ください

配線器具等（ヘアドライヤーや電気ストーブ等の電気製品の電源プラグ・コードや、延長コード、テーブルタップ、コードリール、壁コンセントを含む。ただし、壁コンセントより内側の屋内配線は含まない。）は、電気製品に電力を供給する重要な役割を担っていますが、見た目での危険を認識しづらく、誤った取扱いを続ける等によって事故に至るおそれがあります。

配線器具等による事故は、一年を通じて発生していますが、電気ストーブ、電気あんか等の電気暖房機器やエアコンの使用頻度が増加する12月～2月にかけて、特に多く発生しています。

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>において、配線器具等による事故は、平成22年度から平成26年度までの5年間に合計947件<sup>※2</sup>ありました。

被害状況を見ると、死亡事故14件、重傷事故9件、軽傷事故64件、拡大被害<sup>※3</sup> 493件、製品破損等367件となっています。

事故の原因としては、誤使用や不注意によるもの（197件）が多く発生しています。死亡・重傷といった重篤な被害も発生しており、注意が必要です。

また、配線器具等による事故は火災を伴うものも多く、459件（48.5%）発生しています。特に死亡事故14件はいずれも火災を伴うものです。

### ■ 主な事故事例

- 電気あんかを使用中、電源コード付け根部分に繰り返し負荷を加えたため、電源コード芯線が断線してショートし、1人が重傷を負った。
- 延長コードに他の延長コードをねじり接続したため、接続不良によって接触不良が生じて発火し、住宅の一部を焼損して2人が死亡した。
- コードリールの定格電流を超える電気製品を接続し、また、電源コードを全て引き出さない状態で使用したため、電源コードが異常発熱して発火し、住宅が全焼して1人が死亡、3人が重軽傷を負った。

配線器具等による事故を防ぐためには、「電気あんかやヘアドライヤー等の電源コードは、まきつけたまま使用・収納する等、負荷をかける使い方をしない」「延長コード・エアコン等の電源コードに改造や不適切な修理は行わない」「テーブルタップ等に接続可能な最大消費電力を超えて使用しない」などの注意が必要です。

また、リコール対象製品による事故も発生していますので、お使いの製品がリコール対象となっていないかご確認ください。

事故が多い時期に際して、今一度製品の正しい使用方法を確認し、事故を未然に防止するため、注意喚起を行うこととしました。

（※1）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む）。

（※2）平成28年1月4日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

（※3）製品本体のみの被害にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

## 1. 事故の発生状況

### (1) 年度別 事故の発生件数

図1に「年度別 事故発生件数」の推移を示します。

配線器具等による事故は平成22年度～平成26年度の5年間で947件発生しており、昨年度においても153件の事故が起こっています。

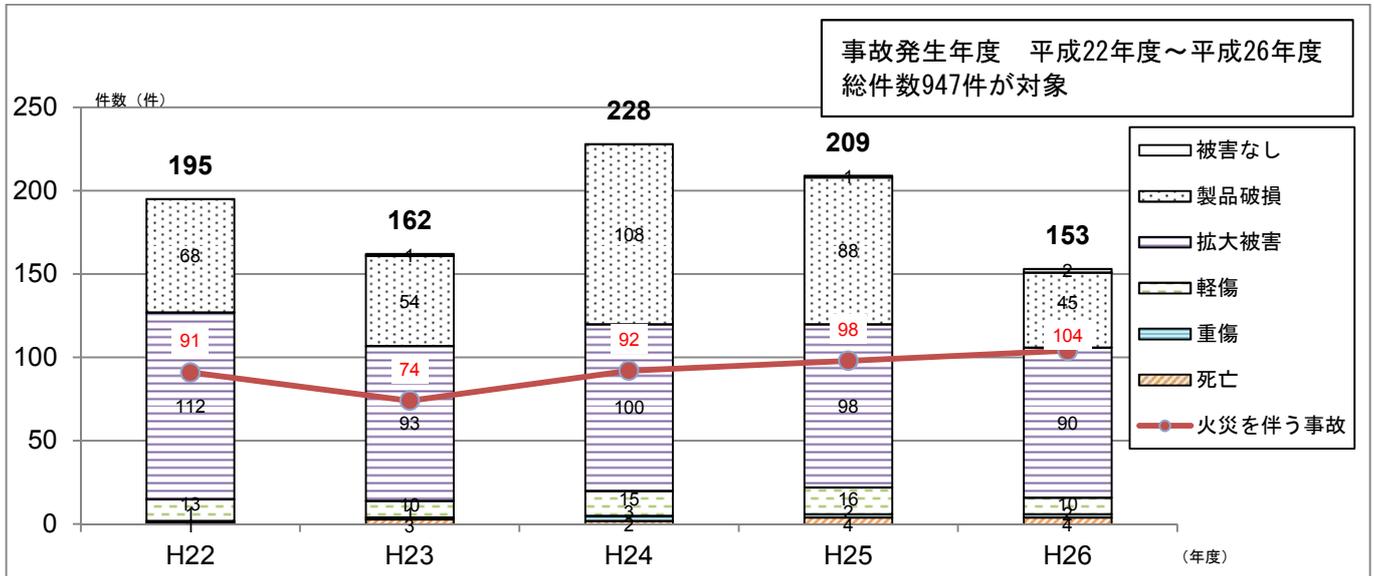


図1 年度別 事故発生件数

### (2) 月別 事故発生件数

図2に「月別 事故発生件数」を示します。

配線器具等の事故は一年を通じて発生していますが、特に12月～2月にかけて多く発生しています。この時期は電気暖房機器やエアコン等を使用する機会が増えるため、それに伴い事故件数が増加すると考えられます。

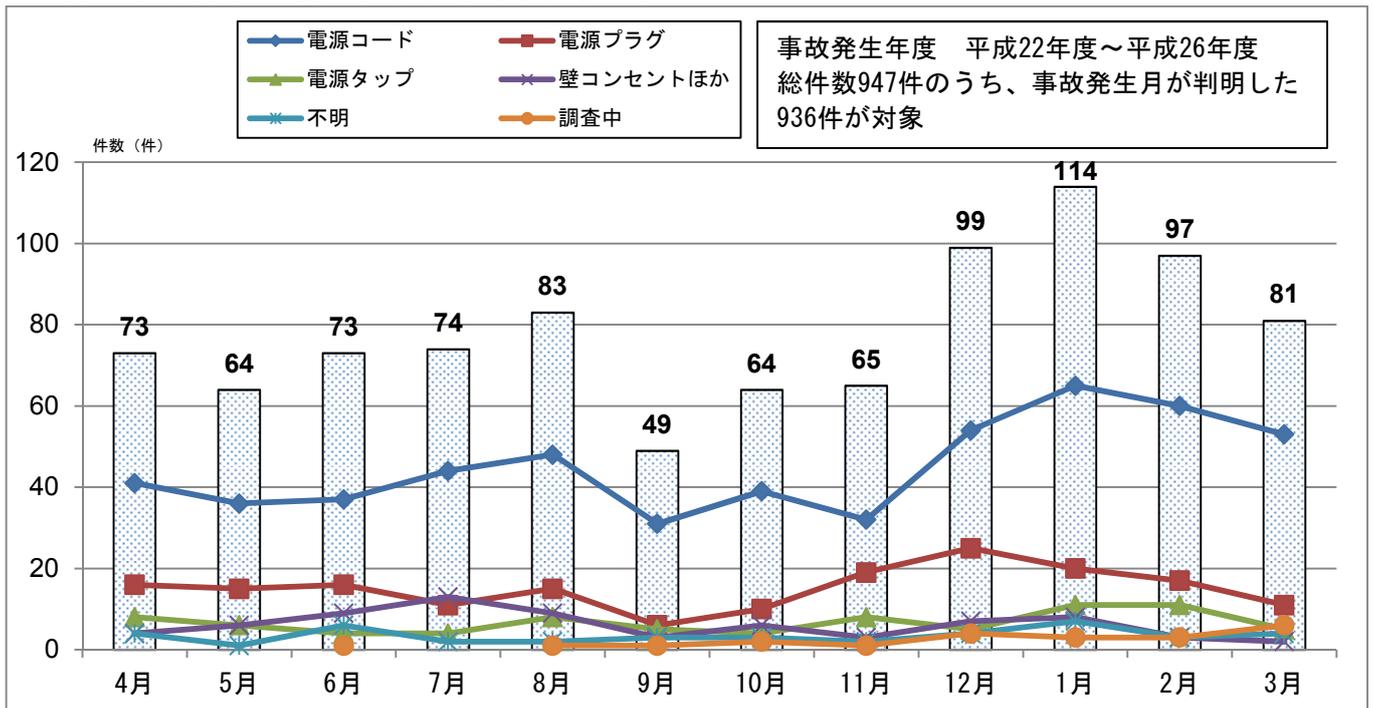


図2 月別 事故発生件数

### (3) 製品別 被害状況

表1に「製品別 被害状況別 事故発生件数」を示します。

テーブルタップ、延長コード等の事故が最も多く262件発生しています。次いでアイロン、掃除機、ヘアドライヤー等の手に持って使用する電気製品188件、電気暖房機器113件等、合計947件の事故が発生しています。

配線器具等による事故は火災を伴うものが多く、459件(48.5%)発生しています。特に死亡事故14件はいずれも火災を伴うものとなっています。

表1 製品別 被害状況別 事故発生件数<sup>※4</sup>

製品名		被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
			死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
テーブルタップ、延長コード等			5 (12) [5]	2 (3) [2]	11 (13) [4]	158 [108]	84 [17]	2	262 (28) [136]
コンセント						15 [13]	13 [8]		28 (0) [21]
電気製品	アイロン、掃除機、ヘアドライヤー等、手に持って使用する電気製品			1 (1)	22 (22) [1]	28 [15]	137 [3]		188 (23) [19]
	電気暖房機器 (電気ストーブ、電気あんか、電気こたつ等)		4 (7) [4]	1 (1)	11 (14) [5]	72 [45]	24 [7]	1	113 (22) [61]
	キッチン用品 (冷蔵庫、炊飯器、電気ポット、電気ケトル等)		1 (1) [1]	2 (2) [1]	2 (3) [2]	48 [41]	7 [4]		60 (6) [49]
	エアコン、冷風機		1 (1) [1]		2 (2) [2]	44 [41]	3 [3]		50 (3) [47]
	乾燥機、除湿機、空気清浄機		1 (2) [1]		1 (2) [1]	25 [17]	9 [3]		36 (4) [22]
	その他(ACアダプター、照明器具、扇風機、洗濯機、電源コード付家具等)		2 (5) [2]	3 (3) [1]	15 (19) [7]	103 [75]	86 [19]	1	210 (27) [104]
合計	事故件数 被害者数 火災件数	14 (28) [14]	9 (10) [4]	64 (75) [22]	493 [355]	363 [64]	4 [0]	947 (113) [459]	

(※4) 平成28年1月4日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( )は被害者数。[ ]は火災件数。  
人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## (4) 使用期間別 事故発生件数

図3に「使用期間別 事故発生件数」を示します。

製品の初期不良等、使用期間1年未満の事故が最も多く129件発生しています。

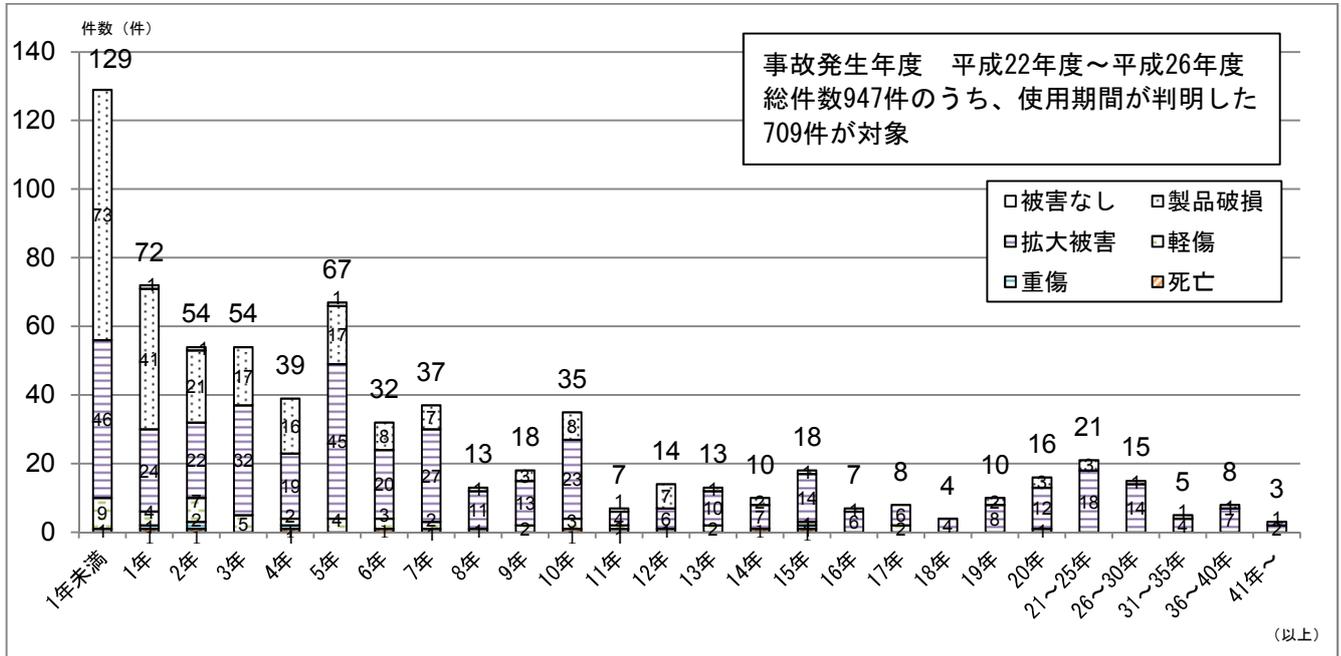


図3 製品の使用期間別 事故発生件数

## (5) 年代別 被害者数

図4に「年代別 被害者数」を示します。

配線器具等による事故の人的被害は、40歳代をピークとしていずれの年代においても発生しています。

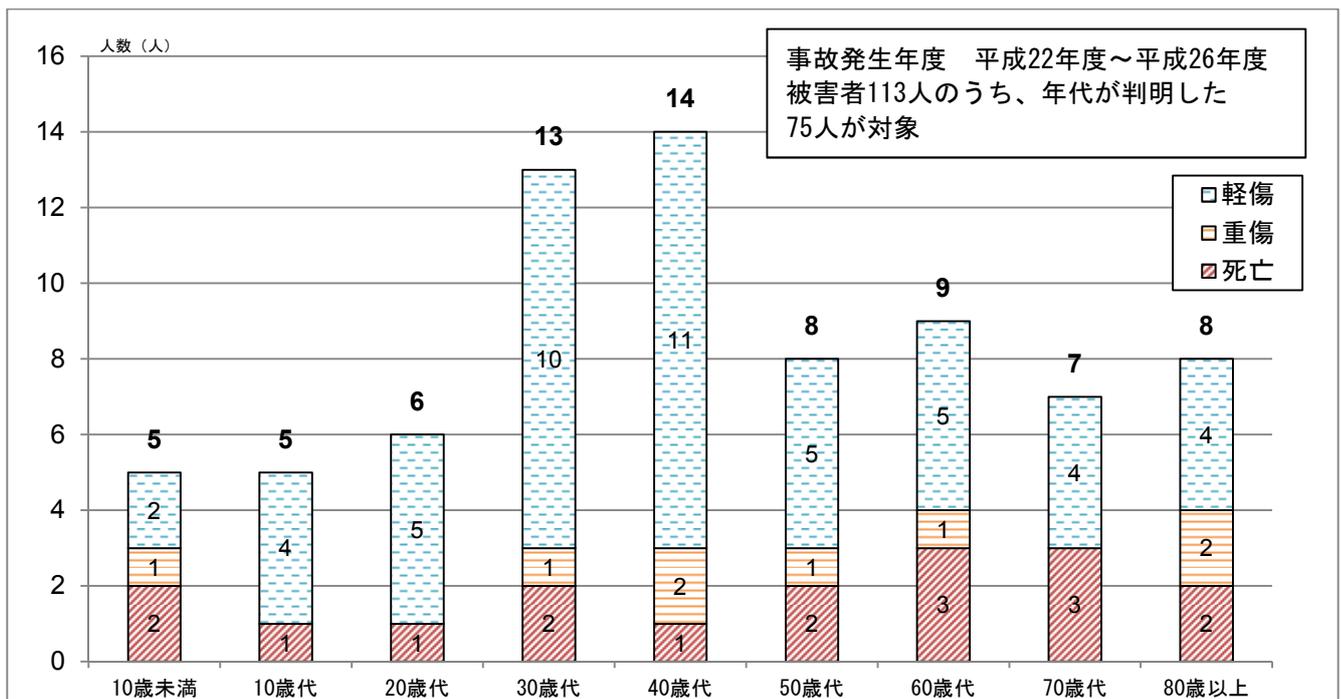


図4 年代別 被害者数

## (6) 事故の製品別 発生部位別 事故件数

図5に「製品別 事故発生部位別 事故件数」を示します。

電気製品においては、電源コードの事故が多く発生しており、特にアイロンや掃除機・ヘアドライヤー等、手に持って使用する電気製品において多発しています。

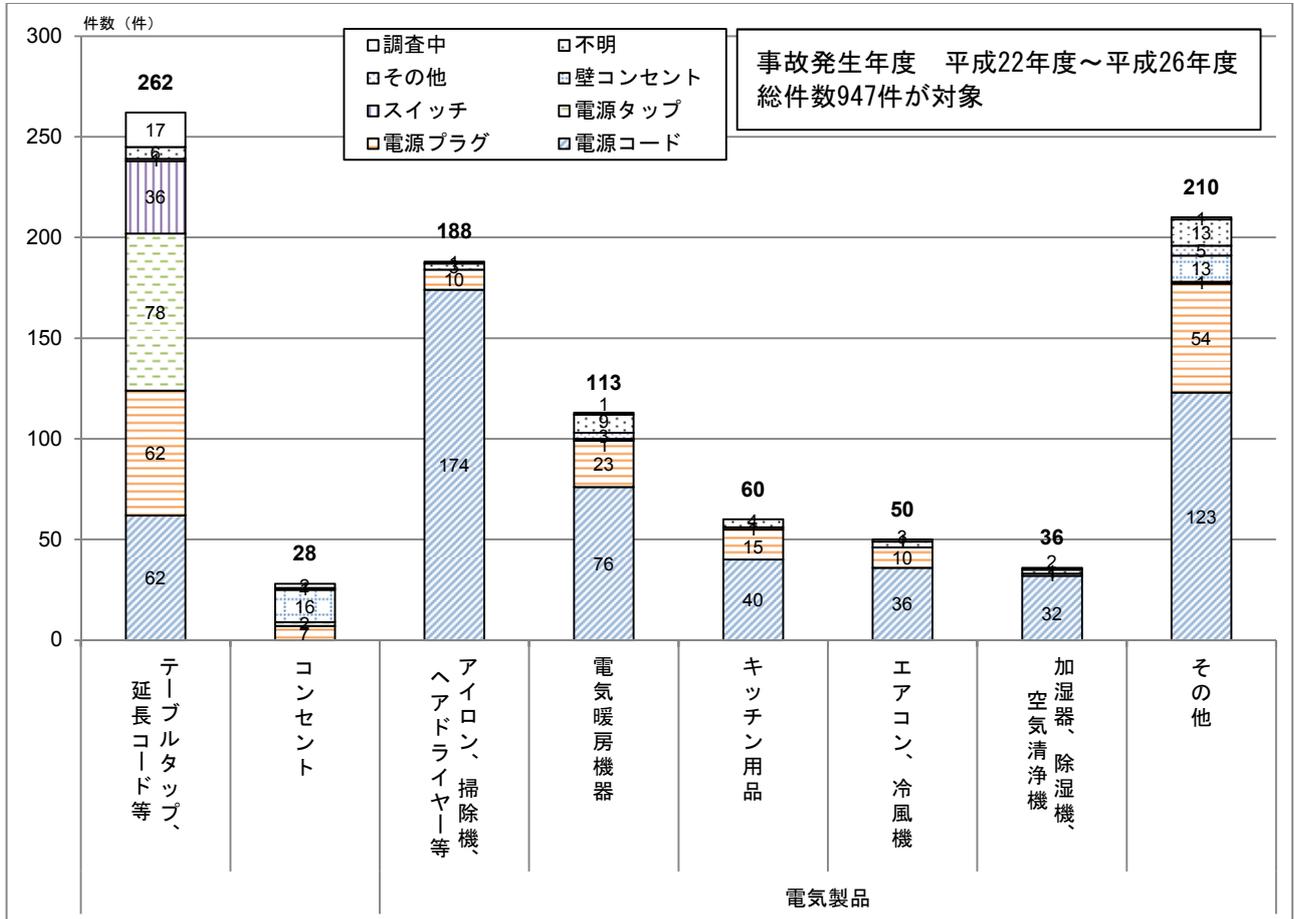


図5 製品別 事故発生部位別 事故件数

(7) 原因区分別 事故件数及び被害状況

① 原因区分別 事故件数

図6に「事故原因区分別 事故件数」を示します。

事故原因区分（別紙1参照）に基づいて分類すると、

- 製品に起因する事故（事故原因区分 A、B、C、G3） 299 件（31.6%）
- 製品に起因しない事故（事故原因区分 D、E、F） 293 件（30.9%）
- 原因不明のもの（事故原因区分 G3 を除く G） 251 件（26.5%）
- 調査中のもの（事故原因区分 H） 104 件（11.0%）

となっています。

「事故原因区分 A:設計、製造又は表示等に問題があったもの」が 210 件（22.2%）と多く発生していますが、この中には「電源コードプロテクター内部が、電源コードをスリーブで覆った二重構造であったため、柔軟性がなくなり電源コードのプロテクター先端付近に応力が集中して芯線が断線・スパークが生じた（拡大被害、製品破損・94 件）」等、同一事業者製品による多発事故が含まれています。

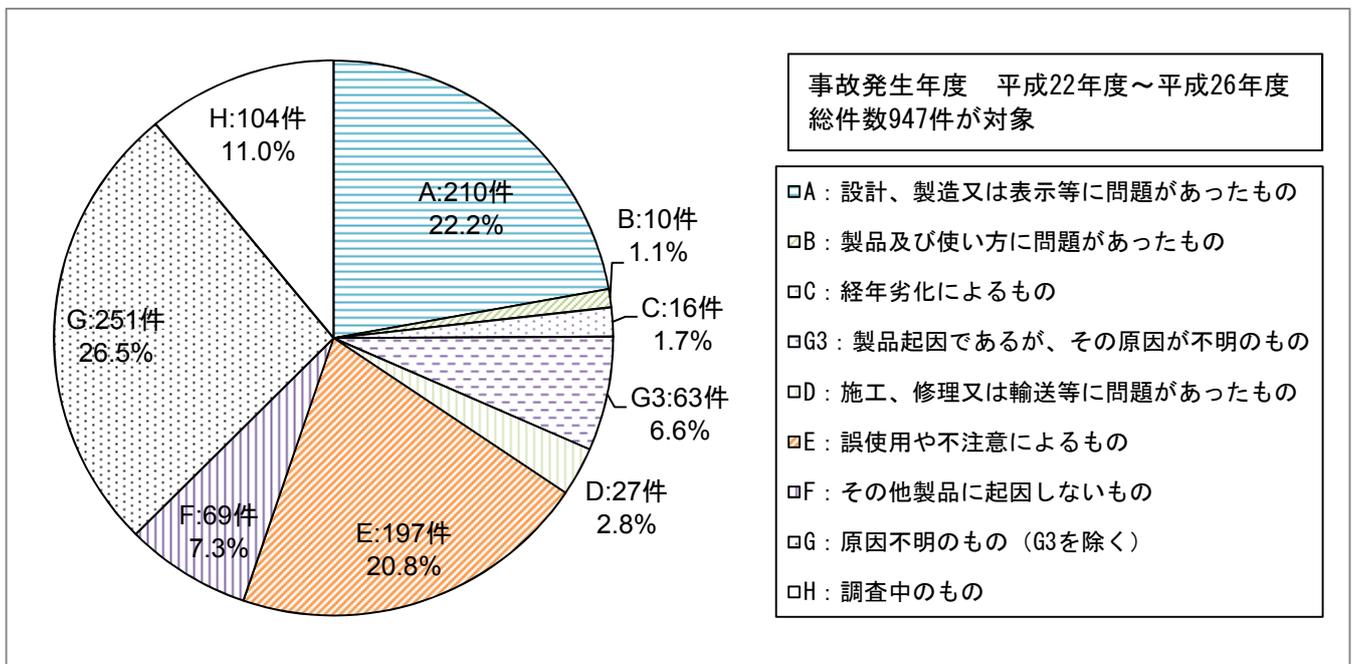


図6 事故原因区分別 事故件数 (単位: 件)

## ② 原因区分別 被害状況

表 2 に「原因区分別 被害状況」を示します。

表 2 原因区分別 被害状況※4

被害状況 事故原因区分		人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの		1 ( 1 )	8 ( 8 )	35 [ 13 ]	166 [ 4 ]		210 ( 9 ) [ 17 ]
	B: 製品及び使い方に問題があったもの				5 [ 2 ]	5 [ 2 ]		10 ( 0 ) [ 4 ]
	C: 経年劣化によるもの			1 ( 1 )	10 [ 9 ]	5 [ 3 ]		16 ( 1 ) [ 12 ]
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの			2 ( 2 )	21 [ 8 ]	40 [ 5 ]		63 ( 2 ) [ 13 ]
	小計 (事故件数)	0	1	11	71	216	0	299
製品に起因しない事故	D: 施工、修理又は輸送等に問題があったもの			1 ( 1 )	19 [ 16 ]	7 [ 7 ]		27 ( 1 ) [ 24 ]
	E: 誤使用や不注意によるもの	3 ( 4 ) [ 3 ]	2 ( 3 ) [ 1 ]	24 ( 27 ) [ 9 ]	123 [ 87 ]	45 [ 15 ]		197 ( 34 ) [ 115 ]
	F: その他製品に起因しないもの	1 ( 2 ) [ 1 ]	1 ( 1 )	2 ( 3 ) [ 1 ]	60 [ 56 ]	4 [ 4 ]	1	69 ( 6 ) [ 62 ]
	小計 (事故件数)	4	3	27	202	56	1	293
G: 原因不明のもの (G3 を除く)		8 ( 15 ) [ 8 ]	4 ( 4 ) [ 3 ]	21 ( 26 ) [ 6 ]	150 [ 97 ]	66 [ 9 ]	2	251 ( 45 ) [ 123 ]
H: 調査中のもの		2 ( 7 ) [ 2 ]	1 ( 1 )	5 ( 7 ) [ 5 ]	70 [ 67 ]	25 [ 15 ]	1	104 ( 15 ) [ 89 ]
合計	事故件数	14	9	64	493	363	4	947
	被害者数	( 28 )	( 10 )	( 75 )				( 113 )
	火災件数	[ 14 ]	[ 4 ]	[ 22 ]	[ 355 ]	[ 64 ]	[ 0 ]	[ 459 ]

(※4) 平成 28 年 1 月 4 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( ) は被害者数。[ ] は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## 2. 事故の現象別被害状況及び事故の事例

### (1) 現象別被害状況

表3に「現象別 被害状況」を示します。

「電源コードに繰り返しの屈曲・荷重等、過度の負荷が加わったため断線してショート、発火」が最も多く150件発生しています。これはいずれの製品においても発生していますが、アイロン、掃除機、ヘアドライヤー等の手に持って使用する電気製品や電気ストーブ、電気あんか等の電気暖房機器、延長コード等において、特に多く発生しています。

次いで延長コードやエアコン等において、「電源コードの改造・修理で不適切な接続（ねじり接続等）を行ったため、接触不良が生じ異常発熱」が48件発生しています。。

その他、「ほこりの付着や水分、洗剤等の浸入によってトラッキング現象が生じて発火」「電源プラグ栓刃の根元に導電性の異物が接触したため、ショートしスパークが発生」等の事故が発生しています。

(※ 4) 平成28年1月4日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( )は被害者数。[ ]は火災件数。  
人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

表 3 配線器具等による事故の現象別被害状況※4

現象	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
事故原因区分B〜F	ヘアドライヤーや電気あんか等の電源コードに繰り返しの屈曲・荷重等、過度の負荷が加わったため断線してショート、発火	1 (2) [1]	2 (2)	18 (20) [6]	90 [70]	39 [13]		150 (24) [90]
	延長コード・エアコン等の電源コードの改造・修理で不適切な接続（ねじり接続等）を行ったため、接触不良が生じ異常発熱	1 (2) [1]		3 (3) [3]	42 [38]	2 [2]		48 (5) [44]
	延長コード等の電源プラグにほこりの付着や水分、洗剤等が浸入したため、トラッキング現象が生じて発火		1 (1) [1]	1 (1) [1]	23 [21]	8 [7]		33 (2) [30]
	電源プラグ栓刃の根元に導電性の異物が接触したため、ショートして発火			3 (3) [3]	11 [3]	4		18 (3) [3]
	電気便座や電気ストーブ等の電源コードが、長期使用に伴う経年劣化によって断線して異常発熱等			1 (1)	10 [9]	5 [3]		16 (1) [12]
	テーブルタップ等の定格を超えて電気製品を接続したため、電源コードが異常発熱	1 (1) [1]	(1)	1 (3)	10 [8]	2 [2]		14 (5) [11]
	電源プラグ栓刃が変形・破損したため異常発熱				11 [7]	1		12 (0) [7]
	その他・不明（電源プラグに外力が加わり、内部の栓刃根元部で半断線が生じて発火、傷んだ状態で使用を継続してショート等）	1 (1) [1]		1 (1) [1]	20 [14]	5 [4]	1	28 (2) [20]
	小計（事故件数）	4	3	28	217	66	1	319
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの			1 (1)	8 (8)	35 [13]	166 [4]		210 (9) [17]
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの				2 (2)	21 [8]	40 [5]		63 (2) [13]
G：原因不明のもの（G3を除く）		8 (15) [8]	4 (4) [3]	21 (26) [6]	150 [97]	66 [9]	2	251 (45) [123]
H：調査中のもの		2 (7) [2]	1 (1)	5 (7) [5]	70 [67]	25 [15]	1	104 (15) [89]
合計	事故件数	14	9	64	493	363	4	947
	被害者数	(28)	(10)	(75)				(113)
	火災件数	[14]	[4]	[22]	[355]	[64]	[0]	[459]

## (2) 主な事故事例

① 電源コードに過度な繰り返しの引っ張りや屈曲・荷重等の負荷が加わったため、断線してショート、発火

平成 26 年 1 月 23 日（東京都、40 歳代・女性、重傷）

## 【事故の内容】

電気あんかを使用中、本体の電源コード付根部分がショートして、右脚にやけどを負った。

## 【事故の原因】

電気あんかの電源コードの本体側コードプロテクター先端部に繰り返し負荷が加えられたため、電源コードの芯線が断線し、ショートしてスパークが発生し、やけどを負ったと推定される。

② 電源コードの改造・修理で不適切な接続（ねじり接続等）を行ったため、接触不良が生じ異常発熱

平成 27 年 3 月 16 日（神奈川県、10 歳代・女性、死亡ほか）

## 【事故の内容】

使用中の延長コード付近から出火して、住宅の一部を焼損し、2 人が死亡した。

## 【事故の原因】

延長コードに他の延長コードをねじり接続した状態でテレビや電気ポット、ヒーター等の複数の電気製品を使用していたため、接続箇所で接触不良が生じて異常発熱し、出火したと推定される。

③ ほこりの付着や水分、洗剤等の浸入によってトラッキング現象が生じて発火

平成 26 年 1 月 3 日（福岡県、製品破損）

## 【事故の内容】

テーブルタップに複数の電気製品を接続して使用中、異音が生じたため確認すると、テーブルタップを焼損する火災が発生していた。

## 【事故の原因】

テーブルタップは台所の流し台前の床において使用されていた。

水等の液体がスイッチ内部に浸入し、電極板間でトラッキング現象が生じてスイッチケースが焼損したと推定される。

④ 電源プラグ栓刃の根元に導電性の異物が接触したため、ショートしてスパークが発生

平成 25 年 4 月 10 日（東京都、拡大被害）

## 【事故の内容】

ドレッサーのコンセントを使用したところ、携帯電話機用充電器の差し込み部分とそばに置いていたアクセサリーが焦げた。

## 【事故の原因】

ドレッサーのコンセントに差し込んでいた充電器の電源プラグ栓刃間に金属製のネックレスが引っ掛かったため、ショートしてスパークが発生し、コンセント部周辺が焦げたと推定される。

⑤ **接続可能な定格を超えて電気製品を使用したため、電源コードが異常発熱**

平成 26 年 1 月 2 日（滋賀県、20 歳代・男性、死亡ほか）

【事故の内容】

コードリール付近から出火して住宅を全焼し、1 人が死亡、3 人が重軽傷を負った。

【事故の原因】

コードリールの定格電流を超える電気製品を接続し、リールから電源コードを全て引き出さない状態で使用したことから、電源コードが異常発熱して芯線間でショート・スパークが生じ、出火したと推定される。

⑥ **電源プラグ栓刃が変形・破損したため異常発熱**

平成 27 年 1 月 13 日（岡山県、製品破損）

【事故の内容】

電気ストーブを使用中、電源プラグ付近から火が出た。

【事故の内容】

電源プラグをコンセントに挿抜する際、過大な負荷が加わったため、電源プラグ栓刃にクラックが生じて変形・破損し、スパークが生じたと推定される。

### 3. 事故を防止するために

配線器具等による事故を未然に防ぐためには、取扱説明書及び製品に記述された指示・警告をよく読み、正しく使用していただき、機器の異常など事故の予兆に早めに気がつくことが必要です。

不具合や故障が判明した時は、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店や製造事業者にご相談してください。

#### (1) 電源コードに負荷をかける使い方をしない

ヘアドライヤーや電気あんか、延長コード等の電源コードをねじる、踏みつける、といった負荷がかかる使い方をすると、電源コードの芯線が断線して、異常発熱や発火の原因となるおそれがあります。以下の内容に注意し、コードに負荷がかかる使い方はしないでください。

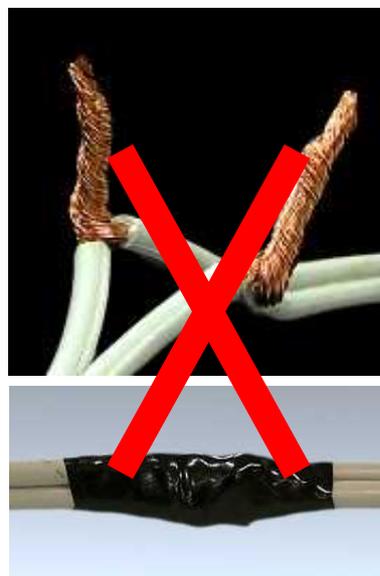
##### <注意事項>

- ヘアドライヤーや電気あんか等の電源コードは、繰り返し本体などに強く巻き付けない。
- テーブルタップ等の電源コードは、束ねたままの状態で使用しない。
- 電源コードを上から重いもので踏みつけたり、ドアなどに挟み込んだりしない。
- 電源コードを釘や絶縁ステップ等の金具で固定しない。
- 電源プラグをコンセントから抜く際に、電源コードを引っ張って抜かない。
- 電気暖房機器等の収納時は、電源コードの付け根部分を極端に屈曲させて保管しない。

#### (2) ねじり接続等、電源コードの改造や不適切な修理を行わない

延長コードやエアコン等の電源コードを、ねじり接続などによって他の電源コードと途中接続する、断線部分をビニールテープで補修する等、改造や不適切な修理、接続は行わないでください。

接触不良によって発煙・発火するおそれがあります。



(写真)コードのねじり接続の様子

### (3) コンセント、テーブルタップ内部への水分や洗剤、異物の浸入に注意する

コンセントやテーブルタップ内部に水分、洗剤、異物が浸入すると、ショートやトラッキング現象が生じるおそれがあります。

延長コードやテーブルタップ等は、使用台所や洗面所、水槽の周囲など水回りでの使用は避けてください。

コンセントや延長コード、テーブルタップ等の中には、ほこりや液体、異物が入り込まないように、差込口にシャッターがついた製品も販売されています。

また、コンセントや電源プラグに装着して、ほこりや液体、異物が入り込まないようにしているコンセントカバーも販売されています。

(写真) 差込口にシャッターがついたコンセント



### (4) 電源プラグはコンセントにしっかりと差し込み、定期的にほこりを掃除する

電源プラグは、コンセントとの間に隙間が生じないようにしっかりと差し込み、定期的に掃除してほこりを取り除いてください。

電源プラグとコンセントとの間に隙間がある、長期間コンセントに差したままにすると、電源プラグに異物が接触する、ほこりや水分が付着する等によって、ショートやトラッキング現象が生じるおそれがあります。

配線器具等の事故には、ショートやトラッキング現象が生じた際に周囲の可燃物に引火して火災に至った例もあります。コンセントや電源プラグ差し込み口の近くに衣類や布団等の可燃物は置かないでください。

### (5) テーブルタップ等に接続可能な最大消費電力を超えて使用しない

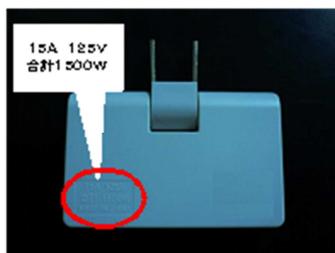
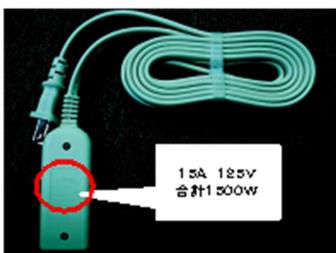
ひとつのコンセントで使用できる電気の流量には限りがあります。テーブルタップ等に電気製品を接続する際は、接続可能な最大消費電力を超えないよう注意してください。

接続できる電気製品の合計消費電力は、テーブルタップ本体やパッケージに記載されているほか、メーカーのホームページ等で確認することができます。

複数の電気製品を接続する際は、それぞれの消費電力を確認し、合計が超えないよう注意してください。

特にコードリールの場合、電源コードを全て引き出して使用するよう注意書きがあるものや、電源コードを引き出した状態と収納した状態とで接続可能な最大電力が異なるものがありますので、使用する際は取扱説明書や製品に記述された指示・警告文を確認してください。

また、消費電力の範囲内であっても、オイルヒーターやエアコンなど、延長コードやテーブルタップ等の使用を禁止している製品があります。接続する電気製品の取扱説明書を確認してください。



(写真)

配線器具等に記載された最大消費電力の例

**[参考]主な電気製品の消費電力の目安（単位：ワット（W））**

製品名	定格電流	製品名	定格電流
アイロン	1,200~1,400W	オイルヒーター	500~1,500W
ヘアドライヤー	600~1,200W	電気ストーブ	200~600W
掃除機	1,000~1,100W	電気温風暖房機	600~1,200W
電子レンジ（30リットルクラス）	1,500W	電気カーペット	250~750W
ホットプレート	1,300W	電気こたつ	500W
オーブントースター	1,300W	電気あんか	30W
食器洗乾燥機	1,200~1,300W	エアコン（100ボルト）	440~1,040W
炊飯器	350~1,200W	除湿機	300~600W
冷蔵庫	150~500W	加湿器	200~300W
電気ケトル	1,200~1400W	空気清浄機	100W
プラズマテレビ（50インチ）	400~500W		
液晶テレビ（50インチ）	120~160W		

**（6） 異常を感じた場合は直ちに使用を中止する**

配線器具等を使用中に次のような症状が見られる場合は、すぐに使用を中止して電源プラグをコンセントから外し、お買い求めの販売店や製造事業者にご相談してください。

**<注意事項>**

- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- 電源コードや電源プラグが部分的に熱くなる。
- 電源コードの一部に傷や破れが生じている。内部の配線が見えている。
- 電源コードの一部が硬くなっている。こぶができています。
- 電源プラグとコンセント、電源コード等との接続が緩くなっている。
- 電源プラグやコンセントが変形・変色している。
- 頻繁にブレーカーが落ちる。

## 4. リコール対象製品による事故の防止

### (1) リコール対象製品による被害状況別 事故件数

表4に「リコール対象製品による被害状況別 事故件数」を示します。

配線器具等のリコール<sup>※5</sup>対象製品による事故は、平成22年度～平成26年度までの5年間に合計100件ありました。このうち59件はリコール実施後に発生したものとなっています。

リコールが行われた製品をお持ちの場合、そのまま使い続けることは非常に危険なため、お使いの製品がリコール製品に該当する場合には、不具合が認識されなくても直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店や製造事業者にご相談してください。

表4 リコール対象製品による被害状況別 事故件数<sup>※6</sup>

被害状況 製品の種類		人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
テーブルタップ・延長コード				1 [ 1 ]	3 [ 1 ]	20 [ 3 ]		24 [ 5 ]
コンセント					1	2		3 [ 0 ]
電気製品	アイロン・掃除機・ヘアドライヤー等		1	1 [ 1 ]	4 [ 3 ]	13 [ 11 ]		19 [ 15 ]
	電気暖房機器（電気ストーブ、電気あんか等）				2 [ 2 ]	2 [ 2 ]		4 [ 4 ]
	キッチン用品				1 [ 1 ]			1 [ 1 ]
	エアコン・冷風機							0 [ ]
	加湿器・除湿機・空気清浄機				6 [ 1 ]	1 [ 1 ]		7 [ 2 ]
	その他			2 [ 1 ]	14 [ 12 ]	26 [ 19 ]		42 [ 32 ]
合計		0 [ 0 ]	1 [ 0 ]	4 [ 3 ]	31 [ 20 ]	64 [ 36 ]	0 [ 0 ]	100 [ 59 ]

(※5) リコールには消費者への注意喚起を含む。

(※6) 平成28年1月4日現在、重複、対象外情報を除いたリコール製品による事故発生件数。

[ ] はリコール実施後に発生した事故件数。

## (2) リコール情報の検索

NITE ホームページにおいて、平成元年度（1989年度）以降に製造事業者、販売事業者等の事業者が行ったリコール情報を収集したデータベースを公開しており、リコール情報の検索を行うことができます。

配線器具等のリコール情報について、別紙 3 に記載しています。



<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトを利用する場合は、「NITE リコール」等の単語で検索してください。

### お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 嶋津 勝美  
担当者 池谷、西澤

- 記者説明会当日  
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降  
電話：06-6942-1113 FAX：06-6946-7280

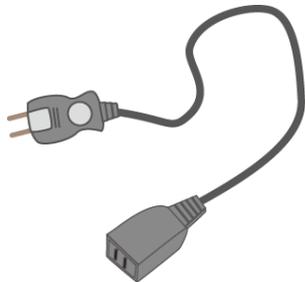
本文中では、事故原因区分を以下の表のように分類しています。

表 事故原因区分一覧

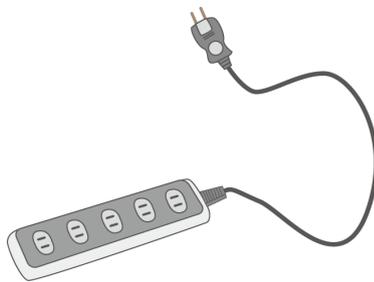
	区分記号	本文表記	事故原因区分
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品に起因するが、その原因が不明なもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
その他	G	原因不明のもの（G3は除く）	焼損が著しいなどによって、原因が特定できず不明なもの 事故品が入手できないなど調査が行えないもの
	H	調査中のもの	調査中のもの

## 各部の名称

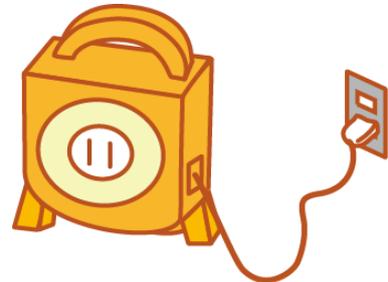
### (1) 各配線器具の名称



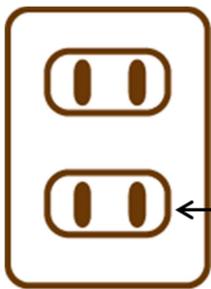
延長コード



テーブルタップ



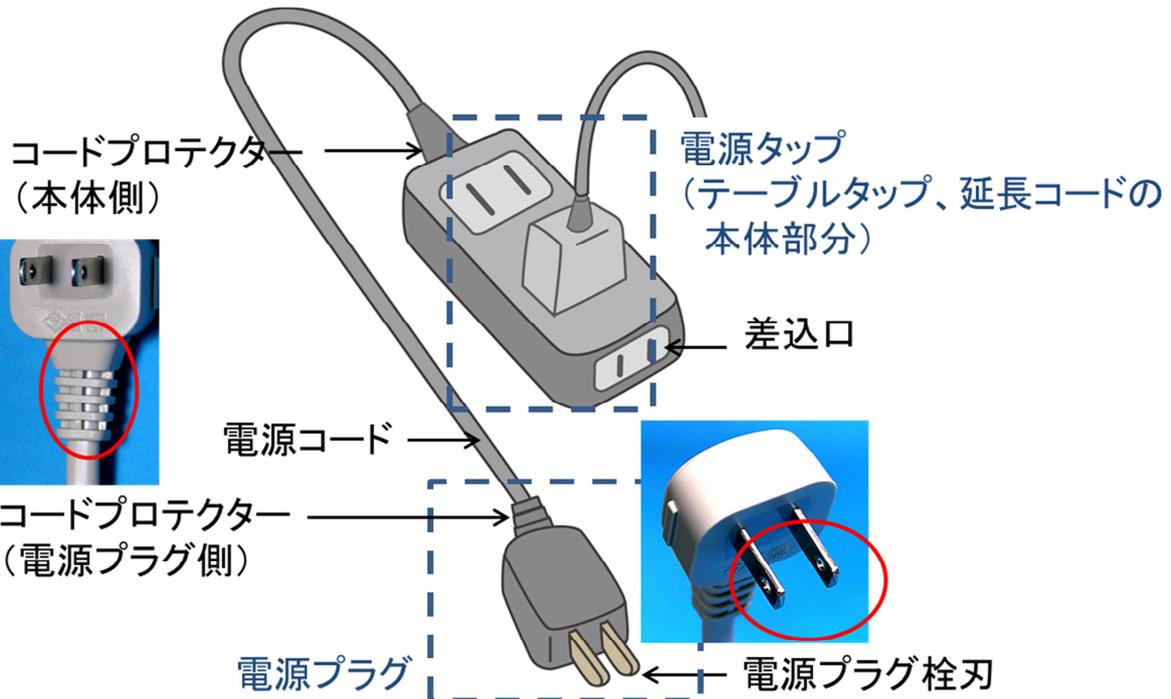
コードリール



差込口

コンセント

### (2) 各部位の名称



## 1. 電源コードの断線・ショート仕組み

電源コードが断線してショートする過程を次の①～④で示します。

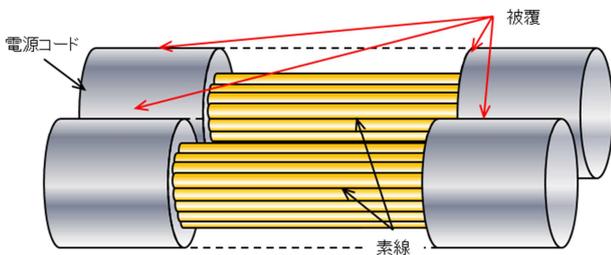


図1 正常時の電源コード芯線

### ① 正常時の電源コード芯線の様子

(※) 点線部はコードの被覆部を透明にして、内部の素線を見えるようにしたもの。

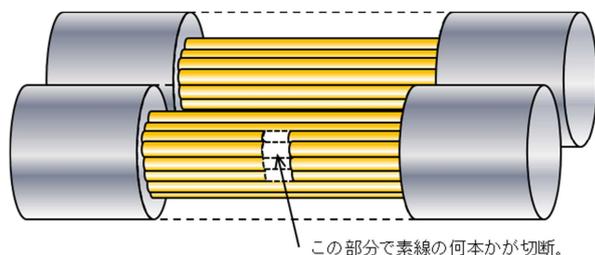
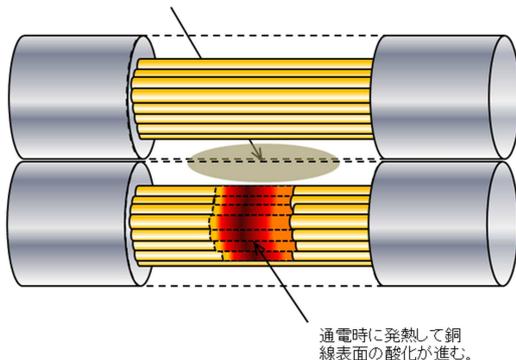


図2 電源コード素線が部分的に断線した状態

② 使用中の屈曲や引っ張り等によって素線の一部が断線した状態（断線初期）  
このまま使用を続け、さらに過重、負荷等をうけると、断線箇所や断線本数が増えていきます。

異常発熱が著しくなると絶縁被覆の熱分解が始まる。



通電時に発熱して銅線表面の酸化が進む。

③ 素線が部分的に断線した電源コードに電流を流すと、断線部分では電流の通り道が細くなっているため、その部分で温度が上昇します。  
温度が上昇すると、芯線の酸化が進み、電流の通り道が更に狭くなり、温度上昇が加速され、絶縁被覆が熱分解されます。

図3 部分的に断線した芯線に電流を流した状態

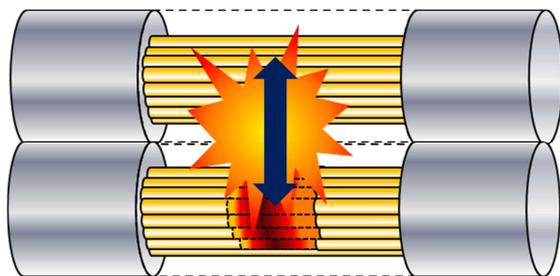


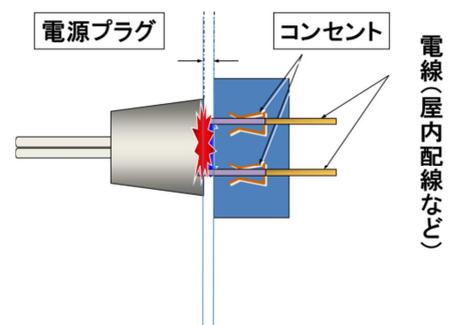
図4 発熱によって電源コードの絶縁被覆が溶断し、ショートした状態

④ 電流の通り道が細くなることによる発熱のほか、断線した素線間の電流スパークによる異常発熱によって絶縁被覆（樹脂）が破壊されます。  
過負荷やコードを束ねて使用していた等の条件が重なると、両芯線が接触してショートする場合があります。

## 2. トラッキング現象の仕組み

コンセントや延長コード、テーブルタップ等に電源プラグを長期間差し込んだままにしていると、コンセントや電源プラグの周囲にほこりや水分が付着します。

付着したほこりや水分によって、電源プラグ栓刃の間に微弱な電流が流れる状態となり、火花放電を繰り返すことによって電源プラグの樹脂部分が徐々に炭化して、発火へと至る現象を「トラッキング現象」といいます。



## 3. トラッキング現象を防止するための技術基準

電源プラグのトラッキング現象による事故を防止するため、水回りで多く使用される電気冷蔵庫・冷凍庫を対象に、電気用品安全法に基づく「電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について」において、電源プラグに耐トラッキング性を持たせるための技術基準が定められています。

一方で、水回りに設置した製品以外でもトラッキング現象による事故が生じている状況をふまえ、平成27年9月からは電源プラグ、マルチタップ、ダイレクトプラグイン機器、漏電遮断機が、平成28年3月からは家庭内で日常的に使用される全ての電気製品において耐トラッキング性が要求されることとなりました。

平成28年3月17日までの移行期間の後、家庭内で日常的に使用される全ての電気製品は、耐トラッキング性を有するものが製造・輸入されることとなります。

### (1) これまでの経緯

#### ① 電気冷蔵庫・冷凍庫の電源プラグに耐トラッキング性が要求事項として策定

(平成21年9月11日 改正：移行期間は平成22年8月31日まで)

電気冷蔵庫・冷凍庫に使用されている電源プラグは比較的大電流が常時通電しており、また、湿気の高い場所に設置されることが多いため、トラッキング現象を防止するため、電源プラグの耐トラッキング性を個別要求事項として規定。

#### ② 電源プラグ、ダイレクトプラグイン機器、漏電遮断機等に適用範囲を拡大

(平成26年9月18日 改正：移行期間は平成27年9月17日まで)

トラッキング現象が、台所などの水回りに設置した製品以外でも発生している状況をふまえて、電源プラグ単体や本体に栓刃を有する機器(マルチタップ、ダイレクトプラグイン機器、漏電遮断機等)を対象に、耐トラッキング性を要求事項として規定。

#### ③ 家庭内で日常的に使用される全ての電気製品に適用範囲を拡大

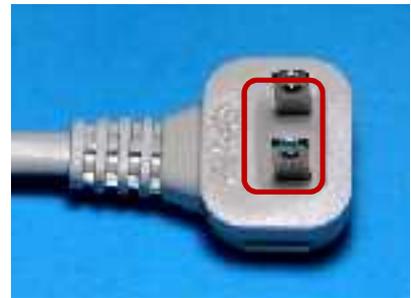
(平成27年1月16日 改正：移行期間は平成28年3月17日まで)

トラッキング現象が、台所などの水回りに設置した製品以外でも発生している状況をふまえて、家庭内で日常的に使用される全ての電気製品を対象に、耐トラッキング性を要求事項として規定。

## (2) 耐トラッキング性の要求事項

電源プラグの耐トラッキング性の要求事項として、次の①及び②が定められています。

- ① 電源プラグ外面で栓刃に直接接する絶縁材料について、一定の耐トラッキング性を有すること。



- ② 栓刃間を保持する絶縁材料について、一定の耐火性を有すること。



公表日	品名	事業者名称	社告内容
2015/9/24	延長コード	株式会社セリア	[製品名及び型式]製品名:延長コード ・差し込み口数:1 長さ・色:1.5m・白、1.5m・黒、1m・白、20cm・白 ・差し込み口数:3 長さ/色:1m・白 [URL] <a href="http://www.seria-group.com/info/20150924.html">http://www.seria-group.com/info/20150924.html</a>
2015/6/15	布団乾燥機	日立コンシューマ・マーケティング株式会社	[製品名及び型式] 型式:HFK-SD1、本体色:ピンク、JANコード:4526044005666 型式:HFK-SD2、本体色:ピンク、JANコード:4526044005673 型式:HFK-SD10、本体色:ローズピンク、JANコード:4526044006731 型式:HFK-SD20、本体色:ローズピンク、JANコード:4526044006748 [URL] <a href="http://www.hitachi-ls.co.jp/attention/hfk.html">http://www.hitachi-ls.co.jp/attention/hfk.html</a>
2015/4/10	照明器具	株式会社ベガコーポレーション	[製品名及び型式] (1)品名:エーデラ(Edela) 品番:fc01-g1001 (2)品名:パミリオ(Phamilio) 品番:fc01-g1001 [URL] <a href="http://www.low-ya.com/c/notice/notice1/c-notice2/">http://www.low-ya.com/c/notice/notice1/c-notice2/</a>
2015/1/19	ACアダプタ(照明器具の付属品)	株式会社 PFU	[製品名及び型式] 製品名:SnapLite PD-SL01用ACアダプタ [URL] <a href="http://snaplite.jp/news/20150119.html">http://snaplite.jp/news/20150119.html</a>
2014/12/10	AC電源コード	レノボ・ジャパン株式会社	[製品名及び型式] 製品名:IdeaPadシリーズ、Lenovoシリーズ ノードブック・コンピュータ用AC電源コード 型番:LS-15(電源コードのACアダプタ側のプラグ表記有り) 対象コンピュータ機種:IdeaPad S100、IdeaPad S10-3、IdeaPadS10-3s IdeaPad S10-3t、IdeaPad S110、IdeaPadS205 IdeaPad U150 IdeaPad U160、IdeaPad U165、IdeaPad U260 IdeaPad U300s、IdeaPad Y560、IdeaPad Y560p IdeaPad Y570 IdeaPad Z370、IdeaPad Z470、IdeaPadZ560 IdeaPad Z570、IdeaPad Z575、IdeaPadZ580 Lenovo G465 Lenovo G475、Lenovo G550、LenovoG560 Lenovo G560e、Lenovo G565、LenovoG570 Lenovo G575、Lenovo G580 [URL] <a href="http://support.lenovo.com/ja/powercord2014">http://support.lenovo.com/ja/powercord2014</a>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2014/8/27	ノートPC用AC電源コード	日本ヒューレット・パカード株式会社	<p>[製品名及び型式]  対象製品:HPノートブックPC/MiniノートブックPC、CompaqノートブックPC、ドッキングステーション等のオプション製品のACアダプターに同梱されていたAC電源コード  品番「349756-001」のうち「LS-15」の表示があるもの  [URL]<a href="http://h50146.www5.hp.com/info/replacement/fy2014/fy14-01.html">http://h50146.www5.hp.com/info/replacement/fy2014/fy14-01.html</a>  「HPノートブックPC用AC電源コードの安全性にかかわる自主回収・交換プログラム」ページ  <a href="https://h30652.www3.hp.com/">https://h30652.www3.hp.com/</a></p>
2014/2/12	電動工具	コーナン商事株式会社	<p>[製品名及び型式]  PROACTハイスピード切断機 180mm PALW-482 JANコード:4522831155286  [URL]<a href="http://www.hc-kohnan.com/important/images/2014.02.12_highspeedsetudanki.pdf">http://www.hc-kohnan.com/important/images/2014.02.12_highspeedsetudanki.pdf</a></p>
2013/12/6	扇風機	株式会社アピックスインターナショナル	<p>[製品名及び型式] 製品名:タワーファン(扇風機) 型番:AFT-677RI(WC)／(IS)  [URL]<a href="http://www.apix-intl.co.jp/">http://www.apix-intl.co.jp/</a></p>
2012/10/17	液晶プロジェクター	(製造・販売)三洋電機株式会社 (製造・販売)松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社)	<p>[製品名及び型式]  ◎三洋電機株式会社  1)品番LP-Z3 JANコード:(S)4973934392120/(K)4973934392113  ◎松下電器産業株式会社  2)品番:TH-AE200 JANコード:4984824537170  3)品番:TH-AE300 JANコード:4984824537187  4)品番:TH-AE500 JANコード:4984824581937  5)品番:TH-AE700 JANコード:4984824630932  [URL]<a href="http://panasonic.jp/support/info/ZA.html">http://panasonic.jp/support/info/ZA.html</a></p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2012/9/13	テーブルタップ	大和電器株式会社(製造)朝日電器株式会社(販売)	<p>[製品名及び型式] 配線スイッチ付テーブルタップ プラン名:ELPA 商品名:スイッチ付タップ 3個口 型番:WLS-N31EB(W)、WLS-N32EB(W)、WLS-N33EB(W)、WLS-N35EB(W)、WLS-N31EBD(W)、WLS-N33EBD(W)、WLS-N35EBD(W) 商品名:スイッチ付タップ 4個口 型番:WLS-N41EB(W)、WLS-N42EB(W)、WLS-N43EB(W)、WLS-N42EBD(W) 商品名:スイッチ付タップ 6個口 型番:WLS-N61EB(W)、WLS-N62EB(W)、WLS-N63EB(W) 商品名:プレミアムタップ 5個口 型番:WBS-N3B(RD)、WBS-N3B(BL)、WBS-N3B(DG)、WBS-N3B(SL)、WBS-N3B(CG) 商品名:耐雷サージタップ 5個口 型番:WLS-5015B(W) 商品名:スイッチ付 耐雷サージタップ 3個口 型番:WBS-301B(W)、WBS-302B(W)、WBS-303B(W)、WBS-305B(W)、WBS-301BD(W)、WBS-303BD(W)、WBS-305BD(W) 商品名:スイッチ付 耐雷サージタップ 4個口 型番:WLS-N410MB(W)、WLS-N420MB(W)、WLS-N430MB(W)、WLS-N450MB(W)、WLS-N420MBD(W)、WLS-N430MBD(W)、WLS-N410MBD(W) 商品名:スイッチ付 耐雷サージタップ 6個口 型番:WLS-N610MB(W)、WLS-N620MB(W)、WLS-N630MB(W)、WLS-N650MB(W) 商品名:安全節約タップ 4個口 型番:WBS-N420SB(W)、WBS-N450SB(W)、WBS-N4100SB(W)、WBS-N420SBD(W) 商品名:安全節約タップ 6個口型番:WBS-N620SB(W)、WBS-N650SB(W)、WBS-N6100SB(W) [URL]<a href="http://www.yamatodenki.com/order/inform-1/">http://www.yamatodenki.com/order/inform-1/</a></p>
2012/3/28 再社告 2013/5/8	サーキュレーター	アイリスオーヤマ株式会社	<p>[製品名及び型式] ・サーキュレーター EAC-2 (ブラック・ホワイト) ・サーキュレーター首振りEAC-2K (ブラック・ホワイト) [URL]<a href="http://www.irisohyama.co.jp/safetyinfo/attencirculator_120328.html">http://www.irisohyama.co.jp/safetyinfo/attencirculator_120328.html</a></p>
2012/1/23 再社告 2012/2/20	加湿器(超音波式)	株式会社KOM	<p>[製品名及び型式] 超音波加湿器『PERFUME:HIR-01』 [URL]<a href="http://www.passport.co.jp/image_index/pdf/news120123.pdf">http://www.passport.co.jp/image_index/pdf/news120123.pdf</a></p>
2012/2/1	DVDプレーヤー	株式会社オーム電機	<p>[製品名及び型式] DVDプレーヤー:(DVD-198Z) 対象ロット番号:D20110500001~D20110515000 [URL]<a href="http://www.ohm-electric.co.jp/showcase/DVD-198Z/DVD-198Z.html">http://www.ohm-electric.co.jp/showcase/DVD-198Z/DVD-198Z.html</a></p>

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2012/1/12	ウォーターサーバー	さつき株式会社	[製品名及び型式] TWM-N-001 [URL] <a href="http://www.satsuki.co.jp/pdf/info_2012_0111.pdf">http://www.satsuki.co.jp/pdf/info_2012_0111.pdf</a>
2010/11/25	保温器	コンビ株式会社	[製品名及び型式] クイックウォーマーHV 製造番号 1. A-02001~99999 2. B-00001~88247 3. K-02051~173182 4. C-02031~206470 [URL] <a href="http://www.combi.co.jp/topics/files/101125_3.pdf">http://www.combi.co.jp/topics/files/101125_3.pdf</a>
2010/6/8	ACアダプター	カシオ計算機株式会社	[製品名及び型式] 電子楽器用ACアダプター ・型式:AD-12ML,AD-12MLA(2008年4月以降に購入した製品が対象) ・付属される製品モデル名:PX-120,、PX-320, PX-720, PX-1000BP, AP-200, CTK-5000, CTK-5000SK, LK-301BB, WK-500, WK-3800 ・型式:AD-A12150LW(全数が対象) ・付属される製品モデル名:AP-220BN, PX-130, PX-330, PX-730 電子文具用ACアダプター ・型式:AD-A95100LW [URL] [電子楽器] <a href="http://support.casio.jp/information.php?cid=008&amp;pid=995">http://support.casio.jp/information.php?cid=008&amp;pid=995</a> [電子文具] <a href="http://support.casio.jp/information.php?cid=005&amp;pid=994">http://support.casio.jp/information.php?cid=005&amp;pid=994</a>
2010/3/31	ポータブルラジカセ	株式会社ティー・エム・ワイ	[製品名及び型式] ポータブルラジカセ:DS-CK800A、DS-CK900A [URL] <a href="http://www.tmy2000.com/support/important_info.html">Http://www.tmy2000.com/support/important_info.html</a>